

安全講話

H30/6/4(月)7限



内容「ドライバーからの見え方を踏まえた自転車・歩行者の交通安全」

講師 日本自動車連盟 愛知支部 事業課 寺本 浩 様

自分たちはドライバー（自動車）からどう見られているのか。普段考えていなかったことをドライブレコーダーの映像を見ることで想像しながら考えることができました。

講話の中で、交通安全のために以下の2点を意識することが大切であると学びました。

- ①「～かもしれない」という意識を持って行動する
- ②「どうせ大丈夫だろう」という意識を持つことは危険であると認識する

これら二つを意識するためには「想像力」と「行動力」が不可欠です。これからの学校生活で交通事故に遭わないよう、つねに周りを見て「想像」していきましょう！

